

中尾小だより

〒336-0932 さいたま市緑区中尾 2596-1

HP <https://nakao-e.saitama-city.ed.jp> TEL : 048-873-0216 FAX : 048-810-1120

学校教育目標
知・徳・体の調和のとれた
心豊かな児童の育成

「一年間 ありがとうございました」

校長 小長谷 雅彦

3月の足音が聞かれるようになって、少しずつ暖かい日々が増えてきました。校内を見渡すとツバキの花や菜の花が咲いています。中尾川には小さいザリガニの動き回る姿も見られます。先日NHKの「チコちゃんに叱られる」をたまたま見ていたらツバキが冬に花を咲かせるわけについて放送していました。ご覧になった方もいらっしゃると思いますが、ツバキの花が冬に咲くのは、鳥に花粉を運んでもらい子孫を残すためであり、運んでもらうために花の蜜をご褒美として与えているそうです。暖かい季節は虫が花を選び放題でライバルが多い。そこでツバキはあえてライバルの少ない冬に咲き、効率よく子孫を残そうとしているのではと考えられているそうです。学校のツバキのところにも数種類の小鳥が群がっているのを見ることがあったのですが、なるほどと納得させられました。



2月20日(木)は、5年生が中心で企画、運営を行った「6年生を送る会」が行われました。今年度は全校が体育館に集まり、学年そろっての歌や演奏や踊りや呼びかけを行いました。コロナ禍より朝会等テレビで行うことが増えてきましたが、やはり生で行うことは、その空気感を肌で感じることで、より子どもたちの心にも響き渡っていたようです。会の終わりのころには、その空気感と寂しさで泣き出す子もたくさん見られました。それぞれの学年の発表も短い準備期間の中でしっかり行えており、6年生に対するお礼の気持ちが表れていて本当に素晴らしい感動的な会になりました。元々涙腺の弱い私ですが、年を重ねると更に磨きがかかり、涙してしまい、教員をやっているからこそこういった子どもたちの姿が見られることをあらためて感じました。昨今教員不足が問題になっていますが、この体験は教員だからこそ味わえる特権です。ぜひ、教員の道を志す人が増えてほしいと思いました。

また2月21日(金)からは、各学年最後の授業参観・懇談会が行われています。多くの保護者の皆さんに来校していただきありがとうございます。

さて、いよいよ3月を迎えます。各クラスでは進級や進学に向けて1年間のまとめの時期になります。子どもたちには、クラスの友達や先生と多くの思い出をつくってほしいと思います。3月に近づき、だいぶ日が長くなりました。バイバイタイムも3月から5時までとなります。

少し早いですが、この一年間、御理解と御協力をいただきました保護者並びに地域の皆様に、心より感謝申し上げますとともに、来たる令和7年度も変わらぬ御支援をお願いいたします。